



# 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)



2022年11月9日

上場会社名 リスクモンスター株式会社  
 コード番号 3768 URL <https://www.riskmonster.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤本 太一  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部部长 (氏名) 吉田 麻紀  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-6214-0331

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,890	5.9	321	9.1	301	20.0	198	20.4
2022年3月期第2四半期	1,784	0.9	353	19.4	376	15.2	249	17.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 16百万円 ( 94.0%) 2022年3月期第2四半期 275百万円 ( 64.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	26.19	26.15
2022年3月期第2四半期	33.39	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	6,764	5,859	85.8	761.19
2022年3月期	6,940	5,894	84.1	774.16

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 5,803百万円 2022年3月期 5,837百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		14.50	14.50
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				14.75	14.75

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	6.8	690	3.0	700	1.0	465	1.3	61.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.12「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)及び(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	7,636,922 株	2022年3月期	7,546,922 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期2Q	13,268 株	2022年3月期	6,468 株
------------	----------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	7,578,593 株	2022年3月期2Q	7,471,199 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.7「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	7
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	8
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	10
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	10
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	11
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(会計上の見積りの変更) .....	12
(セグメント情報) .....	12
3. 補足情報 .....	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着き、経済活動の回復が期待されるものの、資源高と円安を背景とする原材料コストの増加などから、今後も引き続き、お客様のサービス選別が厳しくなることが考えられます。

こうした状況の下、当社グループは、事業を取り巻く厳しい環境を踏まえ2021年度から2025年度までの長期ビジョン「RismonG-30」、その達成に向けたマイルストーンである2021年4月にスタートした3ヶ年計画「第7次中期経営計画(2021~2023年度)」の基本方針に沿い、以下のような取り組みを実施いたしました。

- ・中国において「日本企業情報RMナビ」を提供開始(4月)
- ・与信先モニタリングサービスのお見舞金を倍増、支払対象のRM格付を拡大(4月)
- ・書籍「取引先リスク管理Q&A(第2版)」を出版(5月)
- ・書籍「業種別審査ノートVol.1(第3編)」を出版(5月)
- ・「反社APIサービス」提供開始(6月)
- ・システム構築・運用管理、ブロックチェーン関連技術サービスを提供するアイクラフト株式会社への資本参加(6月)
- ・11期連続の増配となる1株当たり14.5円の配当を実施(6月)
- ・J-MOTTOサービスが「IT導入補助金2022」に認定(6月)
- ・6月に発覚したサイバックスUniv.システム連携用サーバーの個人情報漏えいに関して、必要な対策を講じて収束。また、経営責任を明確にするため代表取締役の役員報酬の一部自主返上を決定(9月)
- ・利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)が設立10周年(9月)
- ・J-MOTTOグループウェアのスケジュールと「Microsoft Teams」のカレンダーとの連携機能を提供開始(9月)
- ・当第2四半期連結累計期間に発表したリスモン調べ
  - 「離婚したくなる夫・妻の仕事」調査結果(4月)
  - 「お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業」調査結果(5月)
  - 「この企業に勤める人と結婚したいランキング」調査結果(6月)
  - 「隣の芝生(企業)は青い」調査結果(6月)
  - 「20年ぶりの円安進行に関する影響」調査結果(6月)
  - 「週休3日制に関する意識」調査結果(6月)
  - 「アフターコロナの働き方」調査結果(7月)
  - 「DX認定企業」分析結果(7月)
  - 「FIREへの憧れ」調査結果(8月)
  - 「金持ち企業ランキング」調査結果(8月)
- ・当第2四半期連結累計期間に発表したリスモン業界レポート
  - 「業務用機械器具製造業」(4月)
  - 「不動産賃貸・管理業」(5月)
  - 「医療業」(6月)
  - 「非鉄金属製造業」(7月)
  - 「情報サービス業」(8月)
  - 「化学工業」(9月)

また、当社は、「第7次中期経営計画(2021~2023年度)」の基本方針に沿った取り組みに加え、「RismonG-30」に掲げた目標を実現するため、「DX(デジタルトランスフォーメーション)への取組」を発信し、以下の取り組みを進めております。

- ・「AI等を活用し、自社保有データの分析推進によるサービス開発と業務効率化」
  - ・「クライアントへのDX化支援サービスの展開」
  - ・「デジタルプラットフォーム活用による業務効率化とテレワーク推進」
- 具体的なクライアントへのDX化支援サービスとして以下を実施いたしました。
- ・「反社APIサービス」提供開始(6月)
  - ・与信管理APIサービスがSaaS連携業務自動化プラットフォーム「ActRecipe」との連携開始(10月)

<連結業績について>

当第2四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		前年 同期比 (%)
		対売上比 (%)		対売上比 (%)	
売上高 (千円)	1,784,143	100.0	1,890,072	100.0	105.9
営業利益 (千円)	353,673	19.8	321,576	17.0	90.9
経常利益 (千円)	376,953	21.1	301,418	15.9	80.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (千円)	249,447	14.0	198,492	10.5	79.6

	前第2四半期 連結会計期間末	当第2四半期 連結会計期間末	増減数
会員数合計 (注)	14,060	13,826	△234

(注) 会員数は登録されているID数

なお、上記においては当社グループの各サービスに重複登録している会員が一部おります。

(売上高)

ビジネスポータルサイト事業、BPOサービス事業、その他サービスが順調であったこと等から、連結の売上高は1,890,072千円（前年同期比105.9%）となりました。

(利益)

サービスシステム増強費用、サービス提供強化のための人件費及びマーケティング費等の増加、与信管理サービス事業及び教育関連事業の売上高減少等により、営業利益は321,576千円（前年同期比90.9%）、経常利益は301,418千円（前年同期比80.0%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は198,492千円（前年同期比79.6%）となりました。

(会員数合計)

会員数につきましては、与信管理サービス事業は増加したものの、教育関連事業は代理店のサービス提供終了による影響などから減少したため、全体では前年同期と比べ234ID減少し、13,826会員となりました。

<セグメント別の業績について>

セグメント別の売上高につきましては、セグメント間取引消去前の売上高で記載しております。

当社グループのセグメントを、1. 法人会員向けビジネスと2. その他ビジネスに分類した場合の業績は、以下のとおりであります。

1. 法人会員向けビジネス

法人会員向けビジネスに含まれるセグメントは、ア) 与信管理サービス事業、イ) ビジネスポータルサイト事業及び ウ) 教育関連事業であります。

法人会員向けビジネスの業績は、次のとおりであります。

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
法人会員向けビジネス売上高合計 (千円)	1,589,045	1,496,725	94.2
法人会員向けビジネス利益合計 (千円)	406,689	376,548	92.6

会員数	前第2四半期 連結会計期間末	当第2四半期 連結会計期間末	増減数
法人会員向けビジネス会員数合計	13,667	13,375	△292

法人会員向けビジネスの各セグメントの業績は、以下のとおりであります。

ア) 与信管理サービス事業について

与信管理サービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
ASP・クラウドサービス (千円)	894,695	818,873	91.5
コンサルティングサービス売上高合計 (千円)	265,031	245,689	92.7
売上高合計 (千円)	1,159,726	1,064,563	91.8
セグメント利益 (千円)	248,310	228,565	92.0

会員数	前第2四半期 連結会計期間末	当第2四半期 連結会計期間末	増減数
与信管理サービス (注)	7,043	7,230	187

(注) サービス相互提携を行う会員を含む

当第2四半期連結累計期間の与信管理サービス事業の売上高の合計は1,064,563千円（前年同期比91.8%）、セグメント利益は228,565千円（前年同期比92.0%）となりました。

ASP・クラウドサービスは、入会数は予定通り増加しているものの、前期に比べ退会数が増加したこと、一部のサービスが終了になったこと、また、サービスリニューアルに伴うキャンペーンによる割引提供を実施したため、818,873千円（前年同期比91.5%）となりました。

コンサルティングサービスは、反社チェックを含む企業情報代行取得が順調だったものの、サブスク契約への移行によりASPクラウドサービスの利用に移行したこと、前期は取引先信用情報管理の短期間モニタリングサービス等の受注があったため、245,689千円（前年同期比92.7%）となりました。

セグメント利益は、独自データベースを主としたサービス移行に伴い企業情報取得に係る原価は減少したものの、売上高が減少したこと、また、サービスシステム増強費用、サービス提供強化のための人件費及びマーケティング費等が増加したため、228,565千円（前年同期比92.0%）となりました。

イ) ビジネスポータルサイト事業（グループウェアサービス等）について

ビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）の業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
ASP・クラウドサービス (千円)	282,402	292,322	103.5
その他 (千円)	17,710	17,136	96.8
売上高合計 (千円)	300,112	309,458	103.1
セグメント利益 (千円)	119,072	124,337	104.4

会員数	前第2四半期 連結会計期間末	当第2四半期 連結会計期間末	増減数
ビジネスポータルサイト (グループウェアサービス等) (注)	3,147 (144,176)	3,127 (145,163)	△20 (987)

(注) ( ) は外数でユーザー数

当第2四半期連結累計期間のビジネスポータルサイト事業（グループウェアサービス等）の売上高の合計は309,458千円（前年同期比103.1%）、セグメント利益は124,337千円（前年同期比104.4%）となりました。

大容量プランへ移行した会員が増加したため、グループウェアが堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

セグメント利益につきましては、売上高が堅調だったことに伴い、前年同期を上回りました。

ウ) 教育関連事業について

教育関連の業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
教育関連売上高合計（千円）	129,205	122,703	95.0
セグメント利益（千円）	39,305	23,646	60.2

会員数	前第2四半期 連結会計期間末	当第2四半期 連結会計期間末	増減数
教育関連	3,477	3,018	△459

当第2四半期連結累計期間の教育関連事業の売上高は122,703千円（前年同期比95.0%）、セグメント利益は23,646千円（前年同期比60.2%）となりました。

定額制サービスは会員数が増加し利用料が積み上がり、会員あたり単価も増加したものの、従量制サービスにつきましては、代理店のサービス提供終了による影響及び利用が少なかった会員数が減少したこと、サイバックスU n i v . システム連携用サーバーの個人情報漏えいに係る対応のため、9月までの約3ヶ月間、新規の営業活動を抑制していたこと等から売上高は前年同期を下回りました。

セグメント利益につきましては、サービス充実のための提供コンテンツ増加により原価が増加したことや、サイバックスU n i v . システム連携用サーバーの個人情報漏えいに係る対応コストが発生したため、前年同期を下回りました。

2. その他ビジネス

その他ビジネスに含まれるセグメントは、エ) BPOサービス事業及びオ) その他サービスであります。

その他ビジネスの業績は、次のとおりであります。なお、中国における与信管理及びグループウェアサービス等の会員数は、451会員となりました。

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
その他ビジネス売上高合計（千円）	314,358	578,447	184.0
その他ビジネス利益合計（千円）	5,735	30,722	535.6

その他ビジネスの各セグメントの業績は、以下のとおりであります。

エ) BPOサービス事業について

BPOサービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
BPOサービス売上高合計（千円）	205,957	415,500	201.7
セグメント利益（千円）	10,009	27,535	275.1

当第2四半期連結累計期間のBPOサービス事業の売上高は415,500千円（前年同期比201.7%）、セグメント利益は27,535千円（前年同期比275.1%）となりました。

株式会社シップスを前第2四半期末に連結子会社とし、前第3四半期から同社の損益を取り込んでおり、また、与信管理サービス事業の独自データベース増強などグループのコスト削減に貢献するサービス提供が増加したことから、売上高は前年同期を大きく上回りました。それに伴い、セグメント利益も前年同期を大きく上回りました。

オ) その他サービスについて

その他サービスの業績は、次のとおりであります。

サービス分野別	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)
その他サービス売上高合計(千円)	108,400	162,946	150.3
セグメント損益(千円)(△は損失)	△4,273	3,187	—

当第2四半期連結累計期間のその他サービスの売上高は162,946千円(前年同期比150.3%)、セグメント利益は3,187千円(前年同期はセグメント損失4,273千円)となりました。

グループの海外展開(中国)を事業とする利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)は、スポットのコンサルティングサービスを受注したこと、また、グループのコスト削減を担うオフショア開発が順調に推移し、円安の影響も受け、売上高は前年同期を大きく上回りました。

セグメント損益につきましては、売上高増加に伴い黒字化しました。

(2) 財政状態に関する説明

		前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間	増減額
資産合計(千円)	流動資産(千円)	2,734,080	2,748,289	14,209
	固定資産(千円)	4,205,973	4,015,858	△190,114
資産合計(千円)		6,940,053	6,764,148	△175,904
負債合計(千円)	流動負債(千円)	579,424	543,705	△35,719
	固定負債(千円)	465,800	360,585	△105,214
負債合計(千円)		1,045,225	904,291	△140,934
純資産(千円)		5,894,827	5,859,857	△34,970
負債純資産合計(千円)		6,940,053	6,764,148	△175,904

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比べ14,209千円増加し、2,748,289千円となりました。これは主に、前払費用の増加によるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ190,114千円減少し、4,015,858千円となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価等によるものです。その結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ175,904千円減少し、6,764,148千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末と比べ35,719千円減少し543,705千円となりました。これは主に、未払金が減少したことによるものです。固定負債は105,214千円減少し360,585千円となりました。これは主に、繰延税金負債が減少したことによるものです。その結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ140,934千円減少し、904,291千円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の減少等により前連結会計年度末と比べ34,970千円減少し、5,859,857千円となりました。また、自己資本比率は85.8%となりました。



(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響については、ウィズコロナの社会に移行していくことによって経済活動が緩やかに回復していくことを前提としております。また、当社グループの売上の7割以上が法人会員向けビジネスとなっており、下振れリスクが比較的低いことを前提に考えております。

株式会社東京商工リサーチとの業務提携解消を理由として与信管理サービス事業の退会数が前期に比べ増加いたしました。退会数は当第2四半期までは高止まりで推移しましたが、第3四半期以降は徐々に収束するものと見込んでおり、新規の入会数は予定通り増加しております。また、一部のサービスが終了になったこと、リニューアルキャンペーンとして期間限定で一部サービスの割引提供もあることから売上を押し下げているものの、企業の信用力を表す指標「RM格付」及び格付情報と同時に取得できる反社チェックヒートマップの利用件数は堅調に推移しております。

教育関連事業につきましては、6月に発覚した個人情報漏えいに係る対応のため、9月までの約3ヶ月間、新規の営業活動ができなかったものの、定額制サービスは会員数が増加しており利用料が積み上がっております。

今後も引き続き独自データベースのさらなる拡充のために積極的な投資の継続、会員企業の業務効率化やDX推進に貢献するサービスを提供する方針であります。

業務提携解消により、独自データベースの活用や新たなサービス開発において自由度が高まり、新たな挑戦ができる事業環境となったため、長期ビジョン「RismonG-30」(2021~2025年度)で掲げた独自データベースを活用した成長戦略を推進すべく、今後はより積極的なサービス展開、営業活動、業務提携を実現し、当社グループの業績及び企業価値向上につなげてまいります。

これらを踏まえ、当連結会計年度の通期の業績見通しといたしましては、売上高4,000百万円(前連結会計年度比106.8%)、営業利益690百万円(前連結会計年度比103.0%)、経常利益700百万円(前連結会計年度比101.0%)、親会社株主に帰属する当期純利益465百万円(前連結会計年度比101.3%)と予想しております。

現時点におきましては、連結業績予想の変更はございませんが、この業績予想は、現時点で当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後、市場環境の変化等により業績予想の修正を行う必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益
2023年3月期予想	4,000	690	700	465
2023年3月期 第2四半期実績	1,890	321	301	198
進捗率(%)	47.3	46.6	43.1	42.7

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,153,476	2,098,234
受取手形、売掛金及び契約資産	488,258	519,400
原材料及び貯蔵品	10,776	14,085
その他	82,247	117,224
貸倒引当金	△678	△656
流動資産合計	2,734,080	2,748,289
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	586,364	586,430
減価償却累計額	△162,279	△171,862
建物及び構築物(純額)	424,084	414,568
工具、器具及び備品	373,399	366,845
減価償却累計額	△298,805	△299,304
工具、器具及び備品(純額)	74,593	67,540
土地	568,352	568,352
リース資産	4,713	4,713
減価償却累計額	△2,029	△2,422
リース資産(純額)	2,684	2,291
有形固定資産合計	1,069,714	1,052,753
無形固定資産		
のれん	52,375	49,618
ソフトウェア	931,916	1,023,282
その他	420,663	480,057
無形固定資産合計	1,404,955	1,552,959
投資その他の資産		
投資有価証券	1,640,486	1,299,800
その他	91,154	110,739
貸倒引当金	△338	△394
投資その他の資産合計	1,731,303	1,410,145
固定資産合計	4,205,973	4,015,858
資産合計	6,940,053	6,764,148

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	308,249	214,237
1年内返済予定の長期借入金	60,160	60,160
未払法人税等	79,048	112,633
賞与引当金	1,596	2,799
その他	130,369	153,874
流動負債合計	579,424	543,705
固定負債		
長期借入金	95,320	65,240
退職給付に係る負債	26,571	29,554
その他の引当金	14,769	16,907
その他	329,140	248,883
固定負債合計	465,800	360,585
負債合計	1,045,225	904,291
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,155,993	1,188,168
資本剰余金	795,514	828,493
利益剰余金	3,054,963	3,144,119
自己株式	△4,494	△10,953
株主資本合計	5,001,976	5,149,828
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	815,376	630,227
為替換算調整勘定	20,172	23,028
その他の包括利益累計額合計	835,548	653,255
新株予約権	286	286
非支配株主持分	57,016	56,487
純資産合計	5,894,827	5,859,857
負債純資産合計	6,940,053	6,764,148

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,784,143	1,890,072
売上原価	794,353	867,206
売上総利益	989,789	1,022,866
販売費及び一般管理費	636,116	701,290
営業利益	353,673	321,576
営業外収益		
受取利息	485	54
受取配当金	11,500	8,334
投資事業組合運用益	19,277	-
その他	506	934
営業外収益合計	31,769	9,322
営業外費用		
支払利息	1,120	803
投資事業組合運用損	-	9,968
為替差損	899	3,207
コミットメントフィー	1,469	1,410
支払手数料	5,000	14,089
その他	-	0
営業外費用合計	8,489	29,480
経常利益	376,953	301,418
特別利益		
投資有価証券売却益	-	107
特別利益合計	-	107
特別損失		
固定資産除却損	167	1,388
投資有価証券売却損	-	2,621
特別損失合計	167	4,009
税金等調整前四半期純利益	376,786	297,516
法人税、住民税及び事業税	65,726	101,999
法人税等調整額	60,153	△2,256
法人税等合計	125,879	99,743
四半期純利益	250,906	197,773
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,458	△718
親会社株主に帰属する四半期純利益	249,447	198,492

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	250,906	197,773
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,943	△185,056
為替換算調整勘定	1,132	3,758
その他の包括利益合計	25,076	△181,298
四半期包括利益	275,982	16,475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	274,205	16,199
非支配株主に係る四半期包括利益	1,777	276

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

無形固定資産のその他に含まれる独自データベースコンテンツは、従来、耐用年数を3年としておりましたが、与信管理サービス事業のサービスリニューアルに伴い、耐用年数を見直し、第1四半期連結会計期間より5年に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ12,985千円増加しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					計	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	法人会員向けビジネス			BPO サービス	計					
	与信管理 サービス	ビジネス ポータルサ イト(グル ープウェア サービス 等)	教育関連							
売上高										
ASP・クラウド サービス	893,005	281,210	-	-	1,174,215	-	1,174,215	-	1,174,215	
コンサルティング サービス	262,420	-	-	-	262,420	-	262,420	-	262,420	
その他	-	17,590	122,703	163,689	303,983	43,523	347,507	-	347,507	
顧客との契約から 生じる収益	1,155,426	298,801	122,703	163,689	1,740,620	43,523	1,784,143	-	1,784,143	
外部顧客への売上高	1,155,426	298,801	122,703	163,689	1,740,620	43,523	1,784,143	-	1,784,143	
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,300	1,311	6,502	42,268	54,382	64,877	119,260	△119,260	-	
計	1,159,726	300,112	129,205	205,957	1,795,003	108,400	1,903,404	△119,260	1,784,143	
セグメント利益 又は損失(△)	248,310	119,072	39,305	10,009	416,698	△4,273	412,425	△58,751	353,673	

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループの海外展開(中国)を事業とする利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報  
(のれんの金額の重要な変動)

BPOサービスセグメントにおいて、当第2四半期連結会計期間に株式会社シップスの全株式を取得したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は当第2四半期連結会計期間において55,132千円であります。なお、のれんは、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	法人会員向けビジネス			BPO サービス	計				
	与信管理 サービス	ビジネス ポータルサ イト(グル ープウェア サービス 等)	教育関連						
売上高									
ASP・クラウド サービス	816,921	290,929	-	-	1,107,851	-	1,107,851	-	1,107,851
コンサルティング サービス	243,079	-	-	-	243,079	-	243,079	-	243,079
その他	-	17,016	119,835	343,686	480,538	58,603	539,141	-	539,141
顧客との契約から 生じる収益	1,060,001	307,945	119,835	343,686	1,831,469	58,603	1,890,072	-	1,890,072
外部顧客への売上高 セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,060,001	307,945	119,835	343,686	1,831,469	58,603	1,890,072	-	1,890,072
	4,561	1,513	2,867	71,814	80,756	104,343	185,100	△185,100	-
計	1,064,563	309,458	122,703	415,500	1,912,226	162,946	2,075,173	△185,100	1,890,072
セグメント利益	228,565	124,337	23,646	27,535	404,083	3,187	407,271	△85,695	321,576

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループの海外展開(中国)を事業とする利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

要約連結キャッシュ・フロー

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー ※1	144,111	419,816
投資活動によるキャッシュ・フロー ※2	△214,720	△333,559
財務活動によるキャッシュ・フロー ※3	△136,400	△141,062
現金及び現金同等物に係る換算差額	△447	△436
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△207,456	△55,241
現金及び現金同等物の期首残高	2,443,729	2,052,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,236,272	1,996,985

前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
主要な費目及び金額は次のとおりであります。 ※1 税金等調整前四半期純利益 376,786 減価償却費 196,004 売上債権の増加額 △67,059 未払金の減少額 △138,432 法人税等の支払額 △184,920 ※2 無形固定資産の取得による支出 △264,693 連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による収入 43,321 ※3 配当金の支払額 △104,278 長期借入金の返済による支出 △30,080	主要な費目及び金額は次のとおりであります。 ※1 税金等調整前四半期純利益 297,516 減価償却費 251,100 売上債権の増加額 △31,027 未払金の減少額 △84,750 法人税等の支払額 △68,345 法人税等の還付額 11,628 ※2 有形固定資産の取得による支出 △15,347 無形固定資産の取得による支出 △379,979 投資有価証券の売却による収入 47,797 ※3 配当金の支払額 △109,049 長期借入金の返済による支出 △30,080